

【問い合わせ先】

第八管区海上保安本部

広報地域連携室

奥野 哲也・今出 高廣

電話 0773-76-4100 (内線 2111・2117)



平成29年1月26日

第八管区海上保安本部

## 平成28年の船舶事故、過去10年間で最少! ～マリンレジャーに伴う海浜事故は前年の5割増～

### 1. 平成28年発生 of 船舶事故 [ 第八管区海上保安本部管轄内 ] (速報値)

#### 全体 ( 、 )

船舶事故隻数は、前年138隻から13隻減の125隻となり、平成19年から  
の過去10年間で最少

船舶事故に伴う死者・行方不明者は、前年4人から6人増の10人

#### 船舶種類 ( 、 、 )

船舶事故全体の9割以上が、小型船舶( )によるもの(117隻)

プレジャーボートの事故隻数は、前年79隻から10隻減の69隻

(ミニボートの事故隻数は、前年12隻から4隻減の8隻)

漁船の事故隻数は、前年38隻から1隻減の37隻となり、過去10年間で最少

#### 事故種類 ( )

船舶事故の種類では、衝突(30隻)、機関故障(24隻)、運航阻害(19隻)、乗  
揚(16隻)、推進器障害(11隻)の順で発生

#### 発生地域等 ( 、 、 )

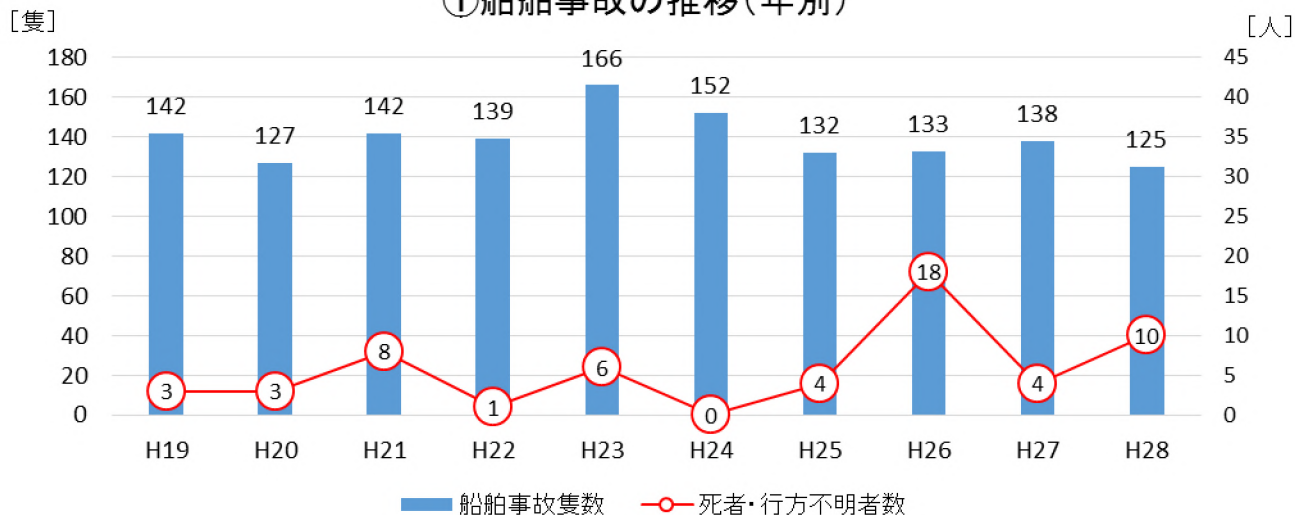
プレジャーボート事故の7割以上が若狭湾地域(福井県・京都府周辺海域)で発生  
し、同事故の操船者の約6割が管区外地域からの来訪者

漁船事故の約8割は、山陰地域(兵庫県北部・鳥取県・島根県周辺海域)で発生

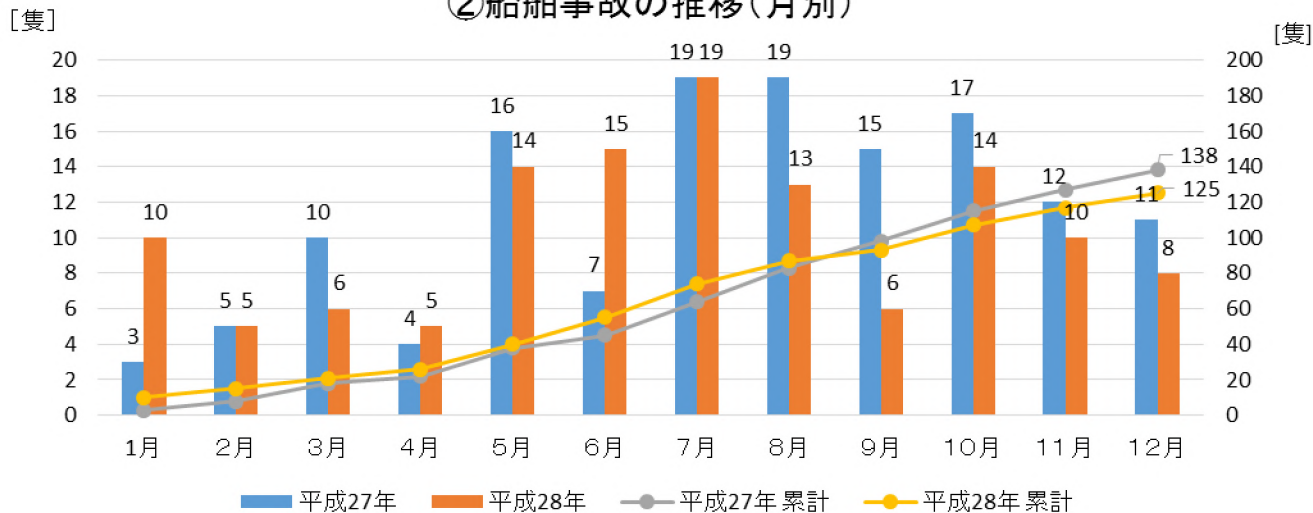
「小型船舶」とは、漁船、遊漁船及びプレジャーボートをいう。

# 船舶事故のデータ[第八管区海上保安本部管轄内]

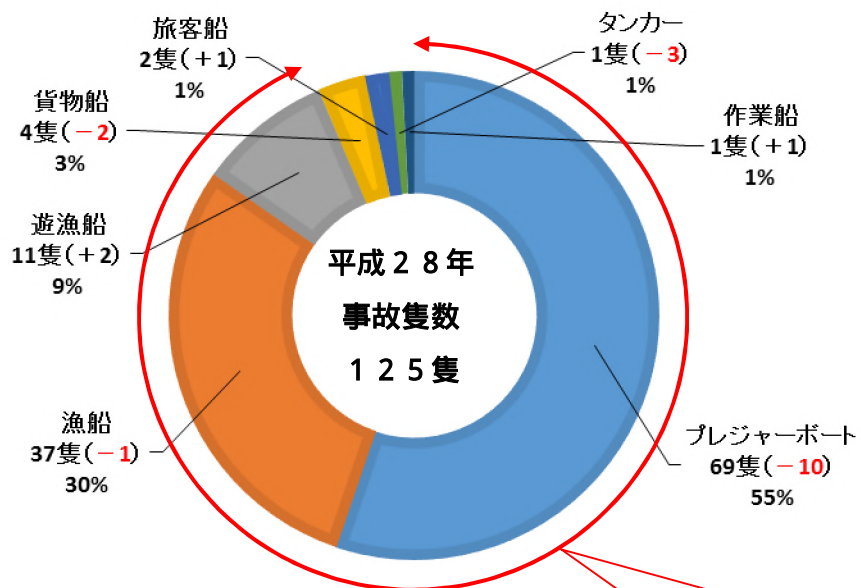
## ①船舶事故の推移(年別)



## ②船舶事故の推移(月別)



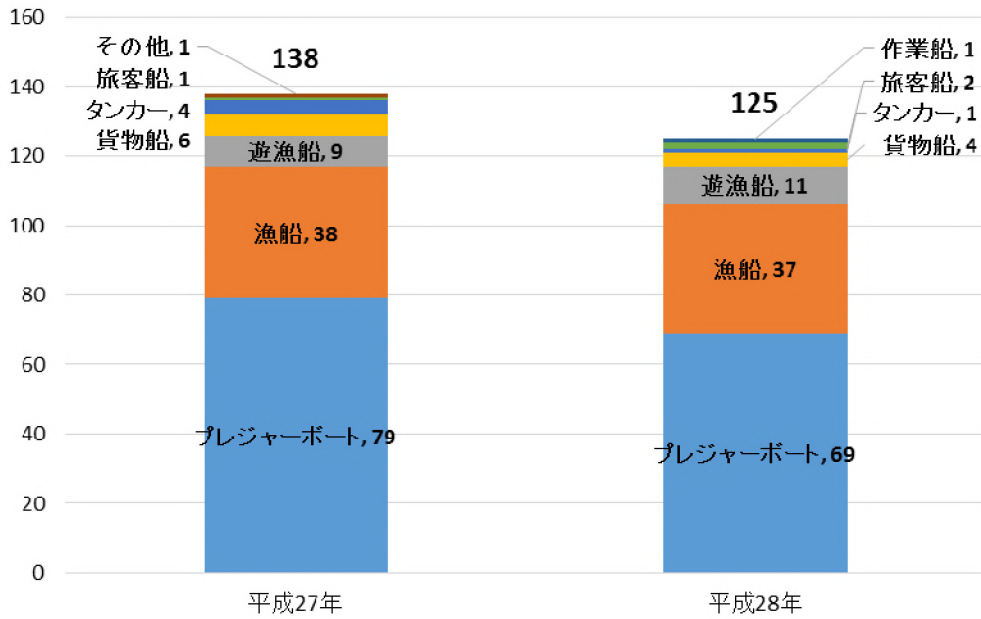
## ③事故船舶の種類



小型船が9割以上(117隻)

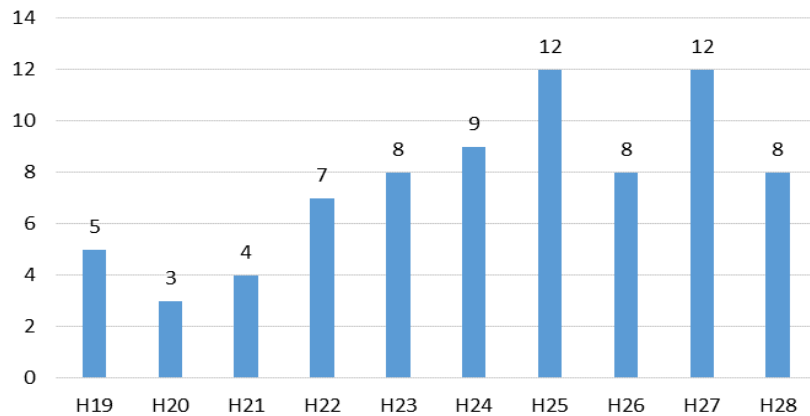
[隻]

### ④事故船舶の種類



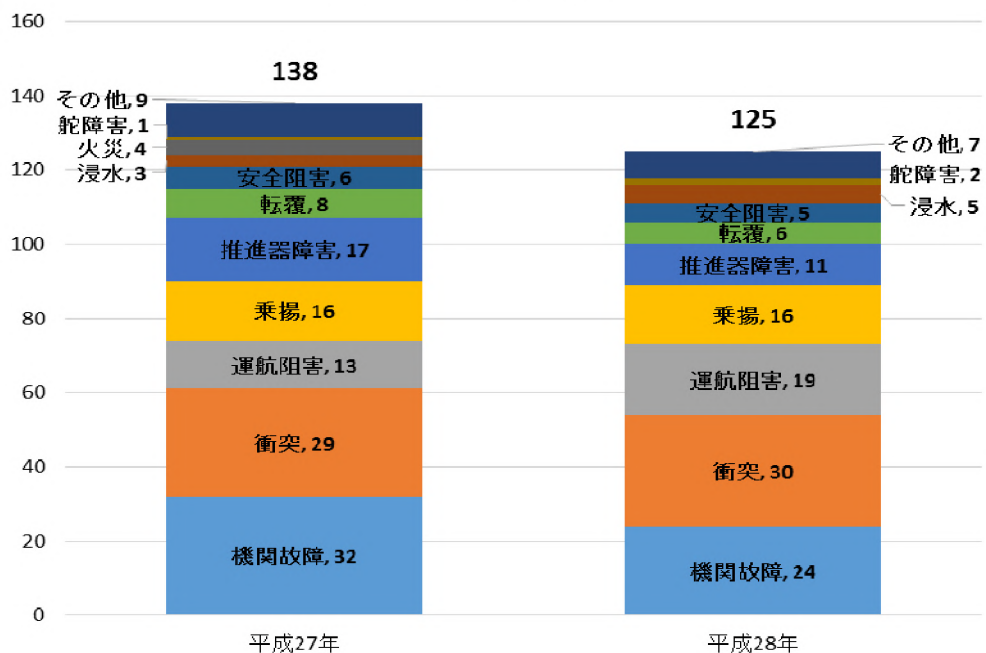
[隻]

### ⑤ミニボート事故の推移

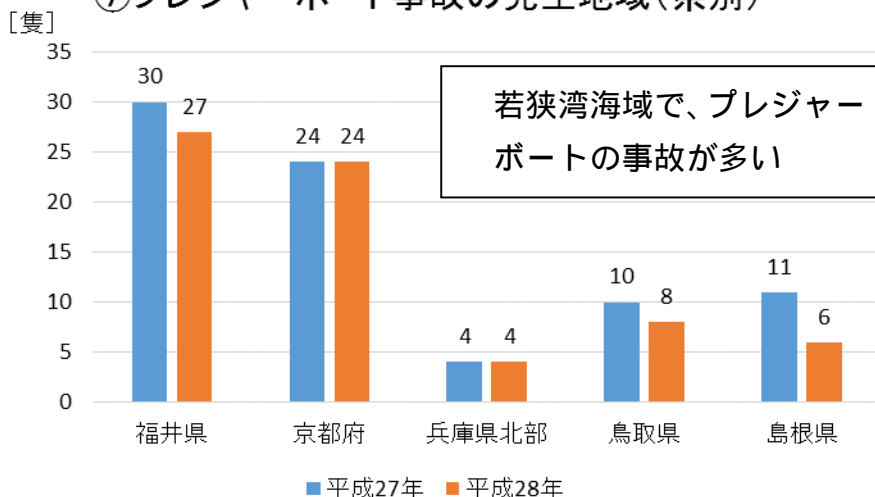


[隻]

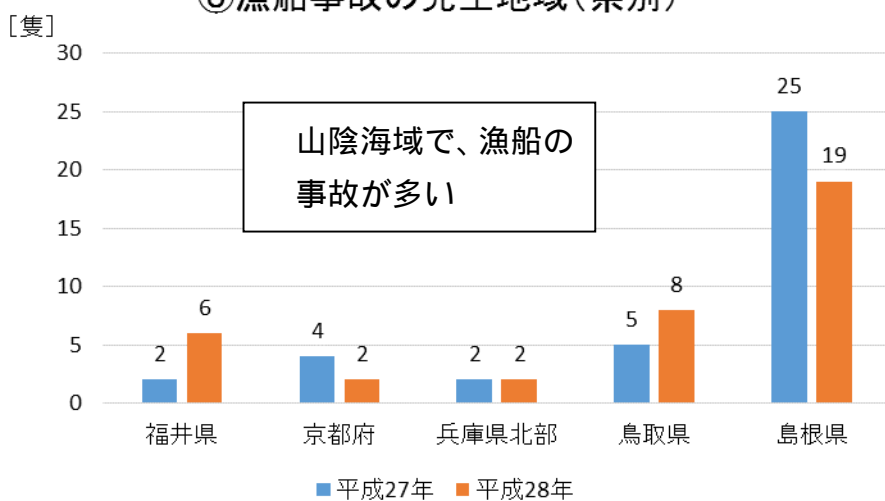
### ⑥船舶事故の種類



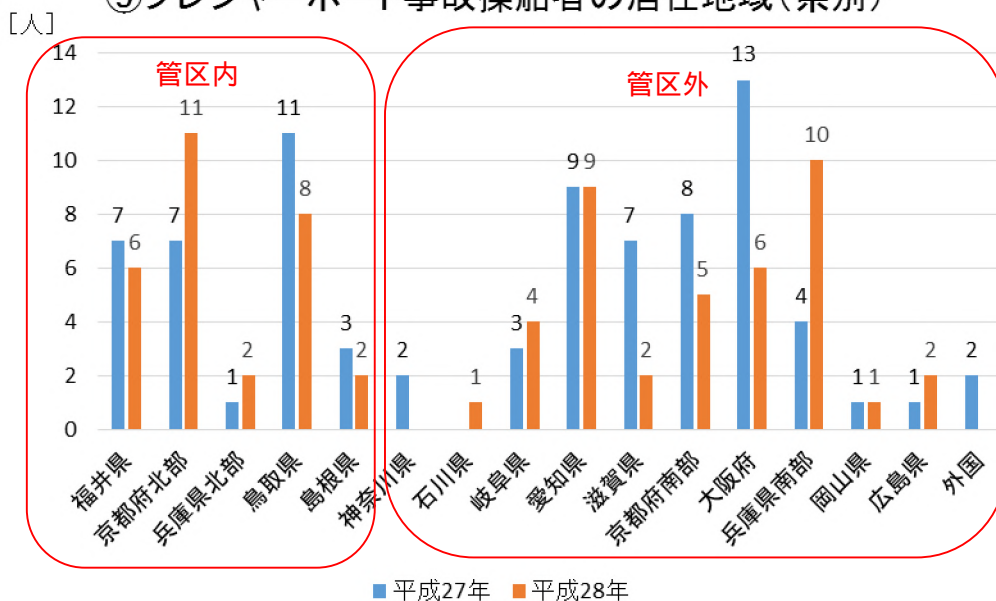
### ⑦ プレジャーボート事故の発生地域(県別)



### ⑧ 漁船事故の発生地域(県別)



### ⑨ プレジャーボート事故操船者の居住地域(県別)



## 2 平成28年発生的人身事故( 2 ) [ 第八管区海上保安本部管轄内 ] ( 速報値 )

### 全体 ( 、 )

人身事故者数は、前年187人から4人増の191人

人身事故に伴う死者・行方不明者は、前年75人から6人減の69人

### 事故種類 ( )

人身事故全体の半数以上がマリンレジャーに伴う海浜事故で、マリンレジャーに伴う海浜事故者数は前年69人から37人増の106人と5割以上の増加

### マリンレジャーに伴う海浜事故 ( 、 、 、 )

マリンレジャーに伴う海浜事故の7割以上が遊泳中と釣り中の事故

遊泳中の事故者数は、前年39人から12人増の51人で3割増

釣り中の事故者数は、前年24人から5人増の29人で2割増

### マリンレジャーに伴う海浜事故の発生地域等 ( 、 、 )

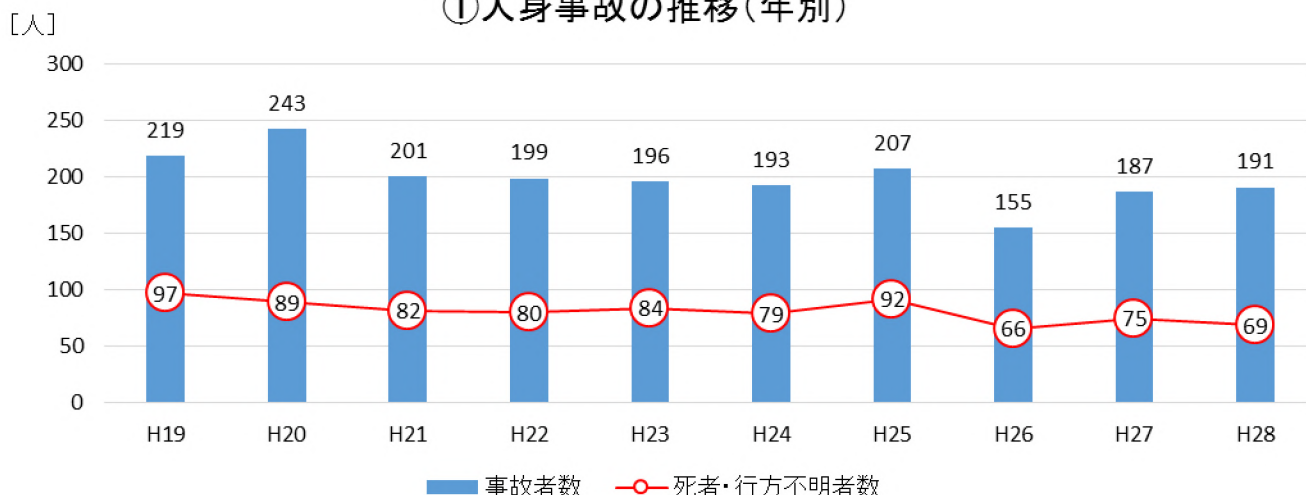
マリンレジャーに伴う海浜事故は、福井県(35人)や島根県(30人)の沿岸で多く発生し、遊泳中や子供を乗せたボートの漂流など海水浴場周辺の事故が増加

マリンレジャーに伴う海浜事故の事故者は、山陰・京阪神・中京・瀬戸内海地域の居住者が多く、約7割が管区外地域からの来訪者。また、20代以下の若年層と50代以上の高齢層の事故が大きく増加

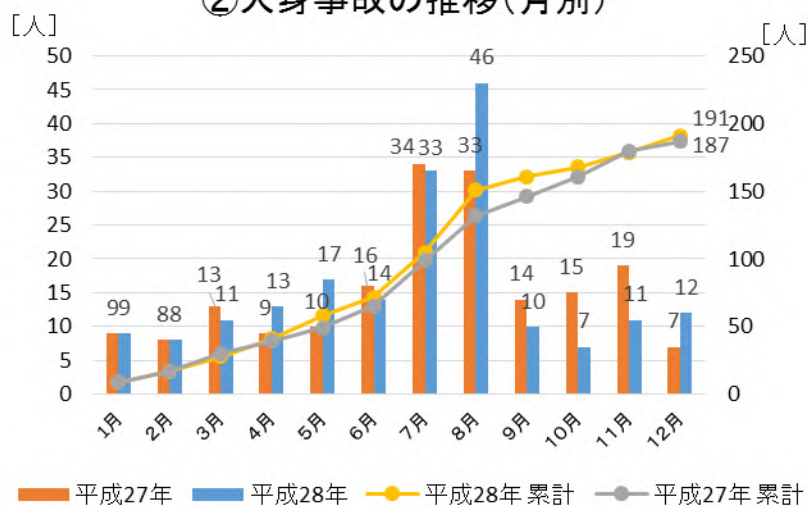
：「人身事故」とは、海浜事故及び船舶事故以外の乗船中の事故をいう。

## 2. 人身事故のデータ（参考）[第八管区海上保安本部管轄内]

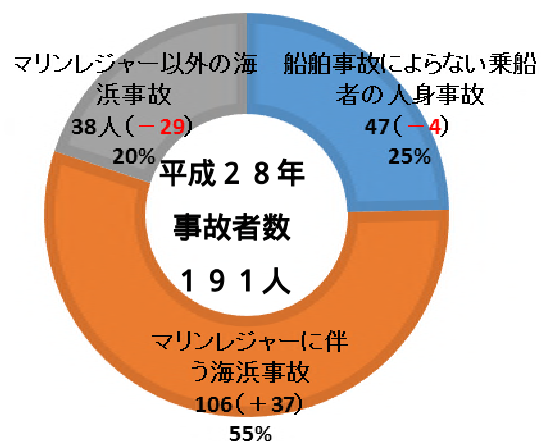
### ①人身事故の推移（年別）



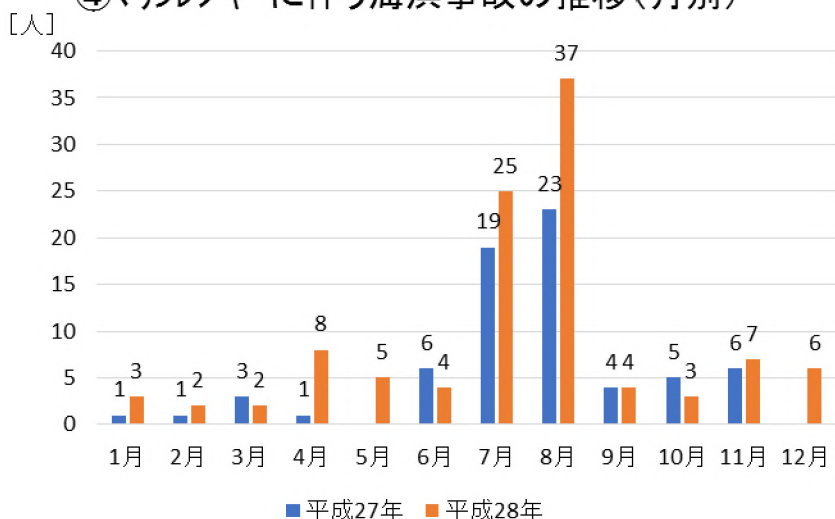
### ②人身事故の推移（月別）



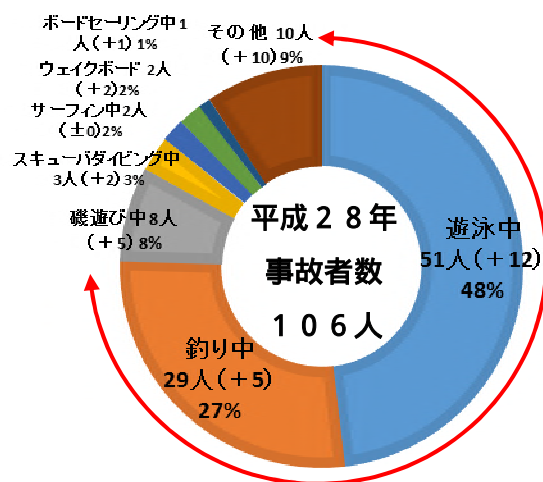
### ③人身事故の区分



### ④マリレジャーに伴う海浜事故の推移（月別）

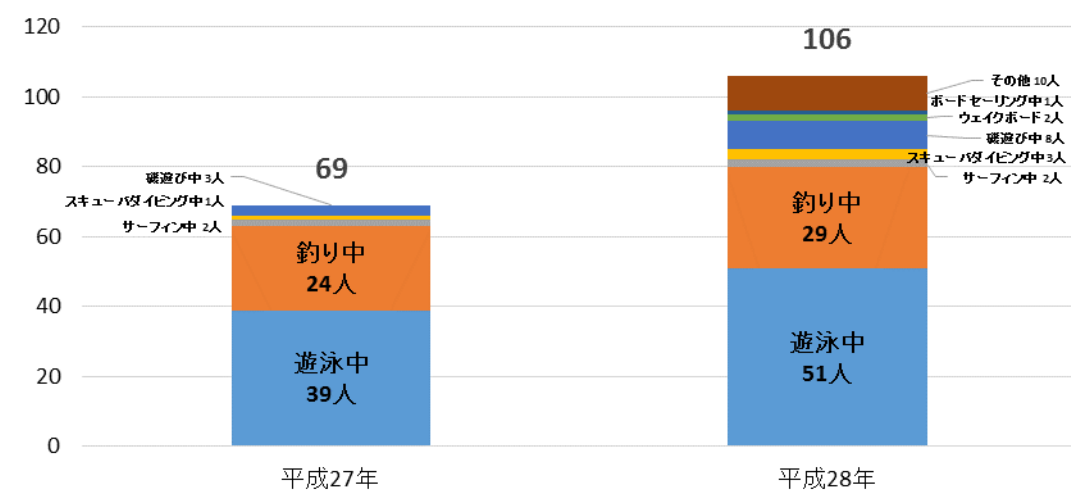


### ⑤マリレジャーに伴う海浜事故の内訳

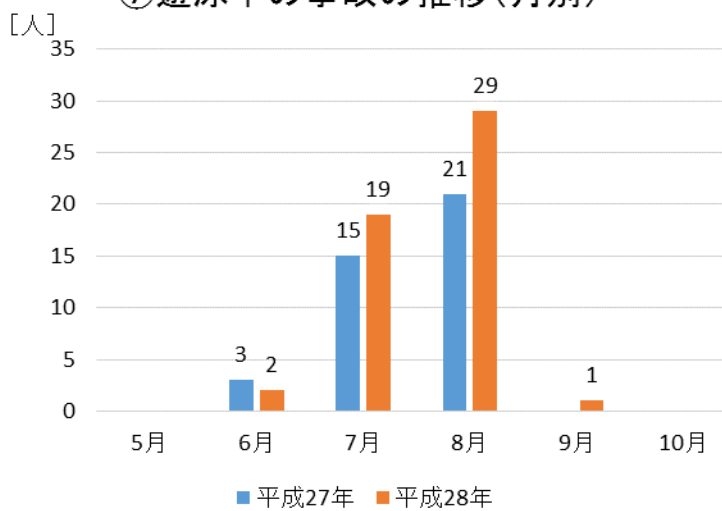


遊泳中及び釣り中  
が7割以上（80人）

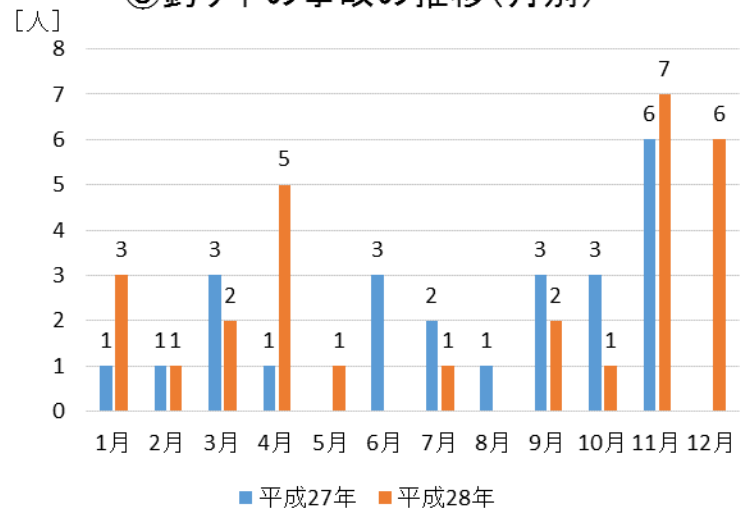
### ⑥ マリンレジャーに伴う人身事故者の内訳



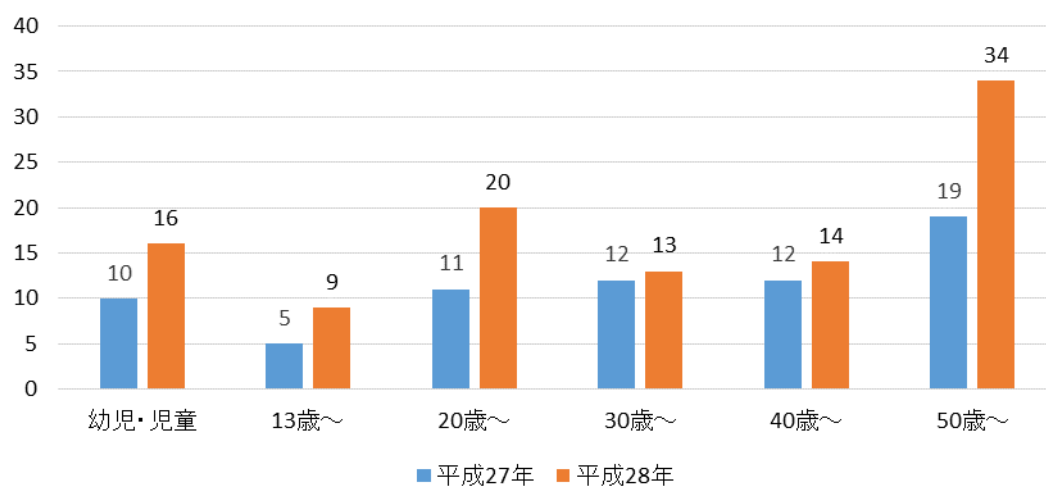
### ⑦ 遊泳中の事故の推移(月別)



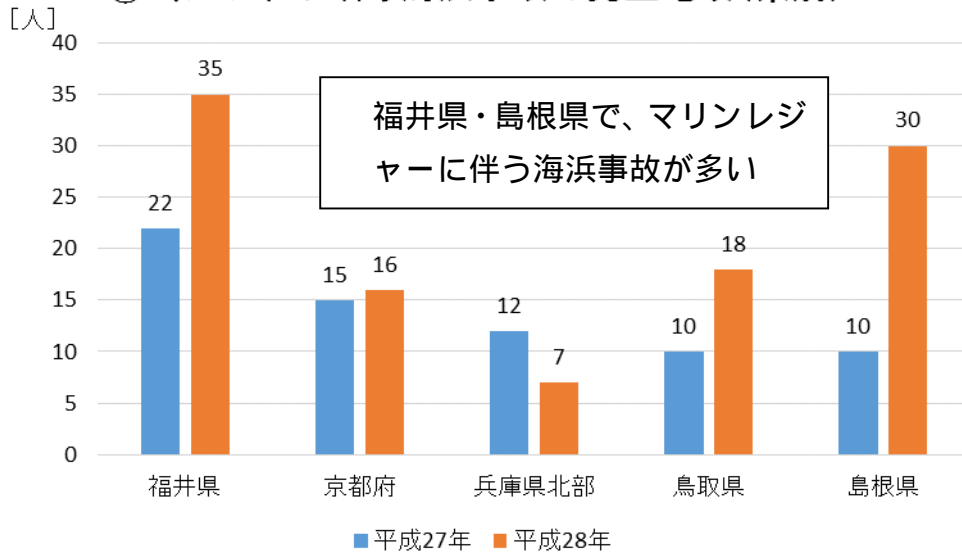
### ⑧ 釣り中の事故の推移(月別)



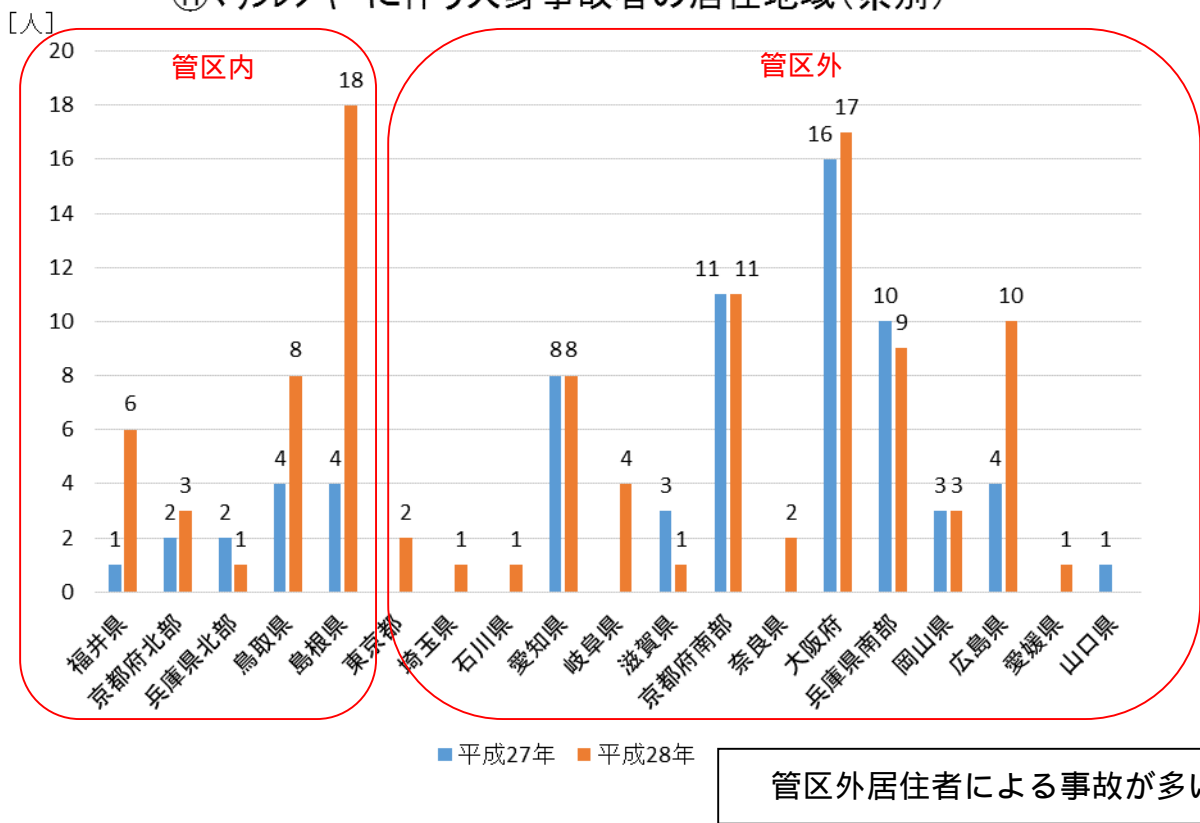
### ⑨ マリンレジャーに伴う海浜事故者の年齢



⑩ マリンレジャーに伴う海浜事故の発生地域（県別）



⑪ マリンレジャーに伴う人身事故者の居住地域（県別）



## 平成28年における主な事故事例

### 【船舶事故】

発生月 12月  
事故船舶 漁船（76トン、底引き網漁業、9名乗船）  
概要 島根県美保関沖にて、エンジントラブルで曳航されていた漁船が転覆・沈没し、乗組員9名全員（日本人8名、インドネシア人1名）が行方不明となった。その後の捜索により、乗組員4名が発見されたが、いずれも死亡が確認された。



事故船舶

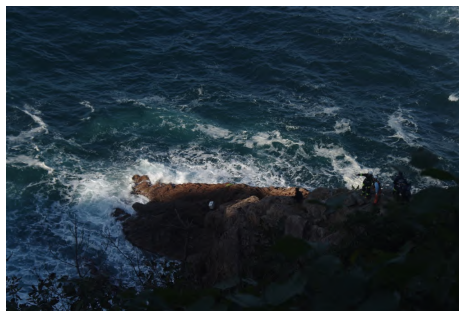
### 【人身事故】

発生月 7月  
事故者 遊泳者（男性1名、29歳、向日市在住）  
概要 4人グループで福井県高浜町にある「はまなす海水浴場」を訪れ、バーベキュー後（飲酒あり）の遊泳中、大量の海水を飲み溺死した。



事故発生場所

発生月 11月  
事故者 釣り人（男性2名、72歳、51歳、京丹後市在住）  
概要 友人3名で兵庫県豊岡市にある岩場において釣り中、1名（72歳）が誤って海中転落し、同転落者を救助しようとして、もう1名（51歳）が入水したが、磯波が高く2名とも溺死した。



事故発生場所

# 参 考

## 1. 平成28年発生船舶事故 [ 京都府内 ] (速報値)

### 全体 ( 、 )

船舶事故隻数は、前年32隻から4隻減の28隻

船舶事故に伴う死者・行方不明者は、前年1人から1人減の0人

### 船舶種類等 ( 、 )

船舶事故の全てが、小型船舶( )によるもの(28隻)

プレジャーボートの事故隻数は、前年と同数の24隻

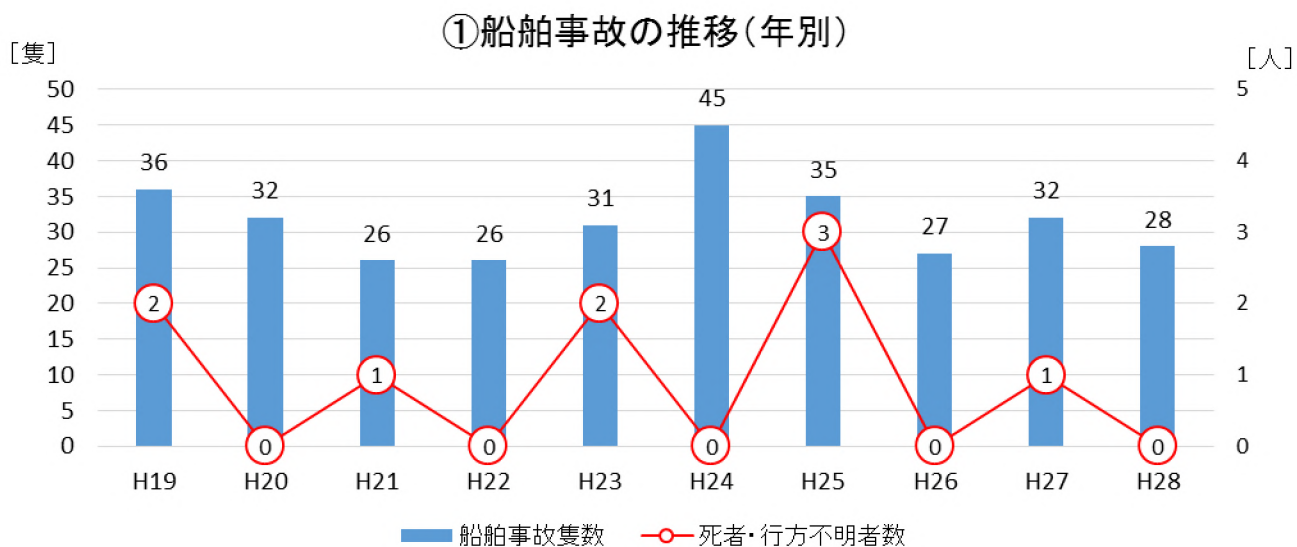
漁船の事故隻数は、前年4隻から2隻減の2隻で、過去10年間で最少

遊漁船の事故隻数は、前年3隻から1隻減の2隻

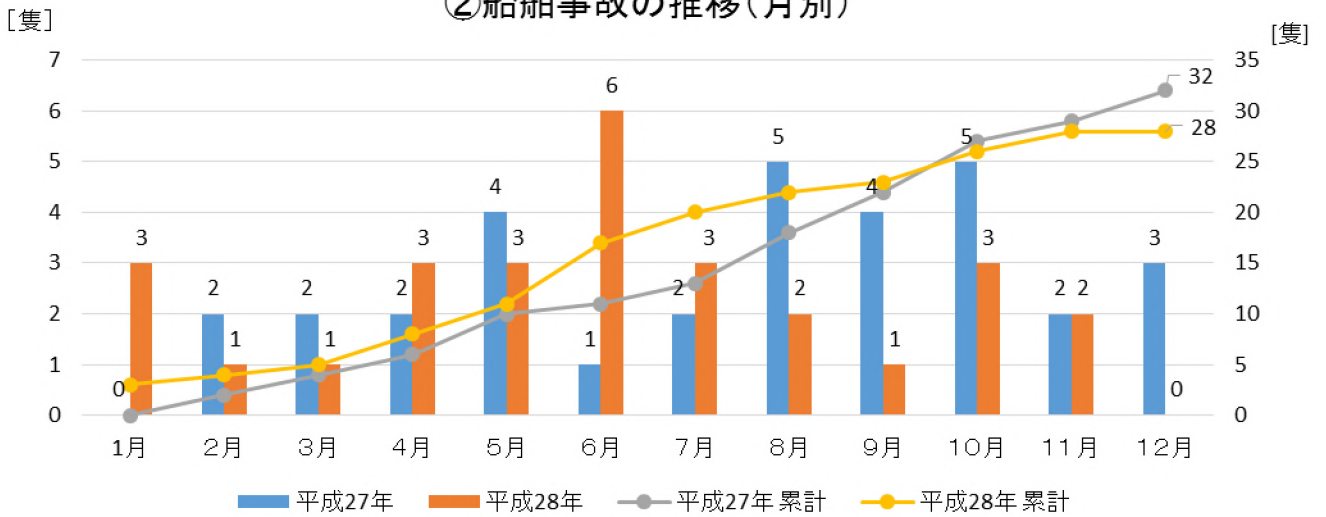
プレジャーボート事故の操船者の約6割が、京阪神など遠方からの来訪者

：「小型船舶」とは、漁船、遊漁船及びプレジャーボートをいう。

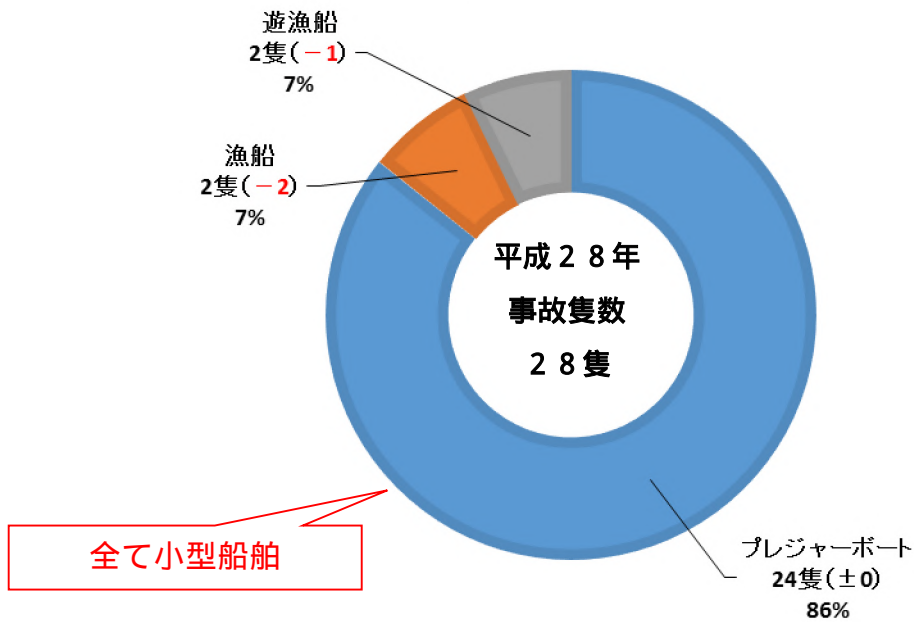
## 船舶事故のデータ [ 京都府内 ]



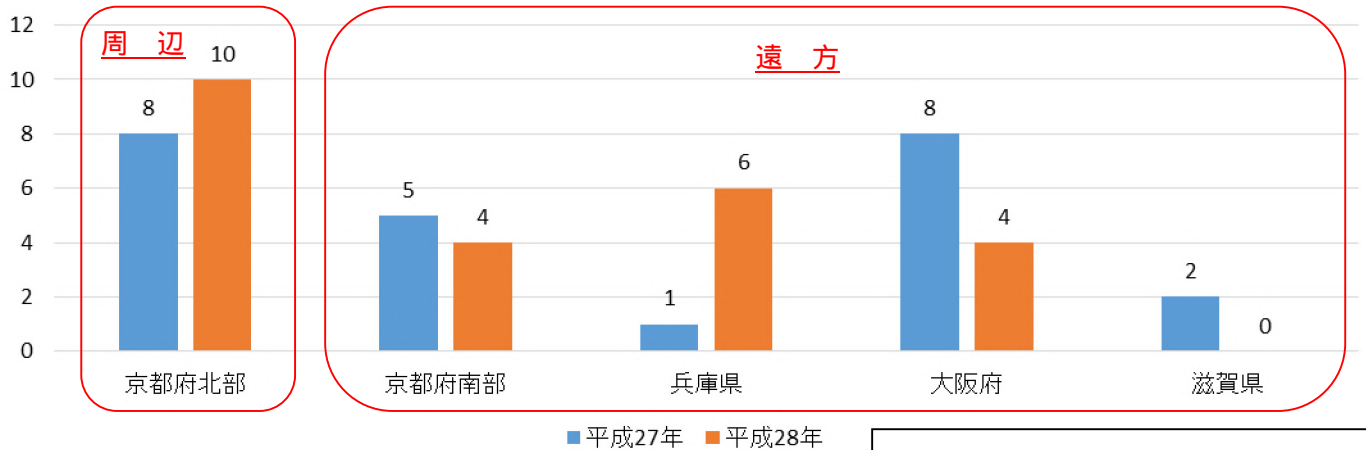
## ②船舶事故の推移(月別)



## ③事故船舶の種類



## ④プレジャーボート事故操船者の居住地域(県別)



遠方居住者による事故が多い

## 2. 平成28年発生的人身事故( ) [ 京都府内 ] (速報値)

### 全体(、)

人身事故者数は、前年36人から5人減の31人

人身事故に伴う死者・行方不明者は、前年16人から6人減の10人

### 事故種類( )

人身事故全体の半数以上がマリンレジャーに伴う海浜事故で、マリンレジャーに伴う海浜事故者数は前年15人から1人増の16人

### マリンレジャーに伴う海浜事故(、、、)

マリンレジャーに伴う海浜事故の約7割が、遊泳中と釣り中の事故

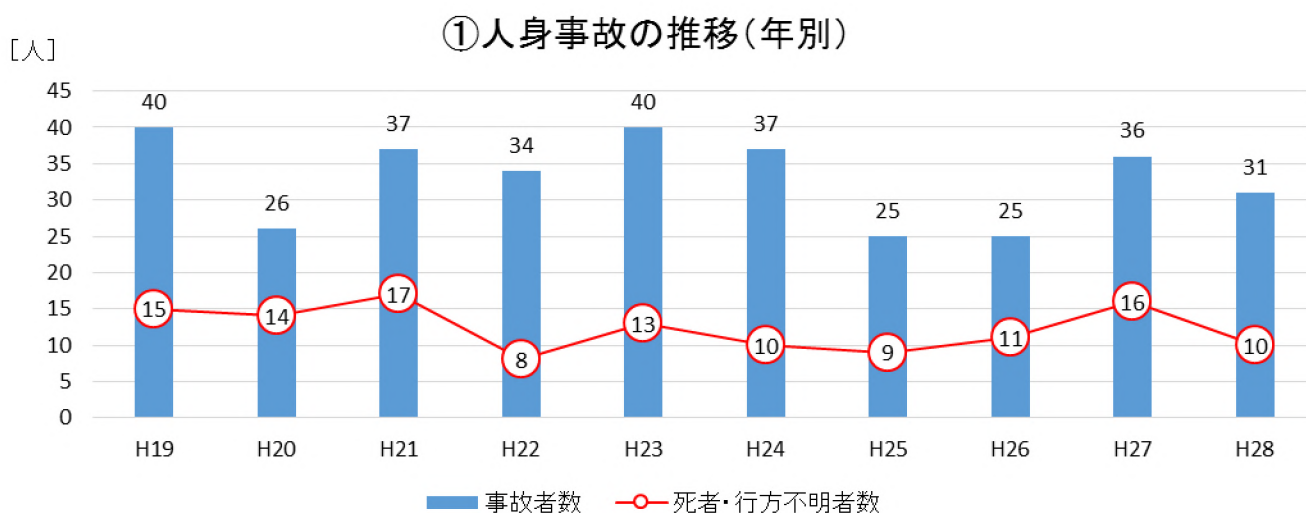
遊泳中の事故者数は、前年9人から1人増の10人

釣り中の事故者数は、前年4人から3人減の1人

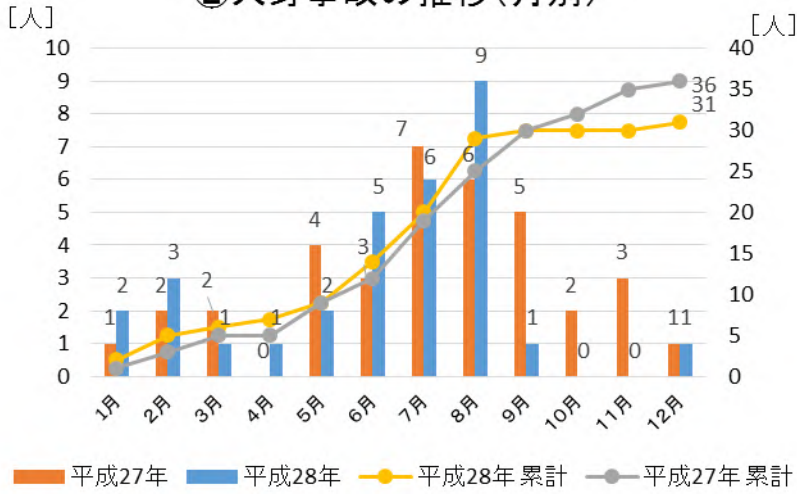
マリンレジャーに伴う海浜事故の事故者の全てが、京阪神など遠方からの来訪者

：「人身事故」とは、海浜事故及び船舶事故以外の乗船中の事故をいう。

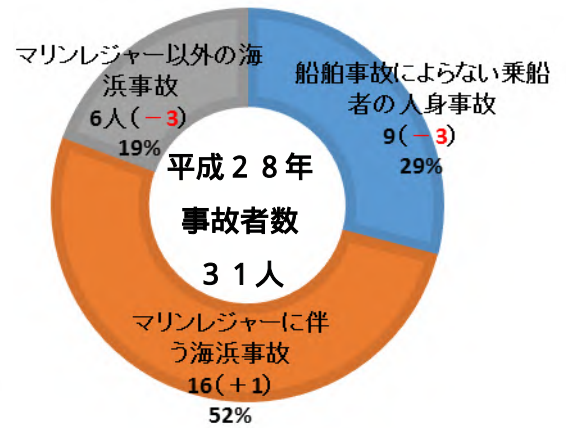
## 人身事故のデータ [ 第八管区海上保安本部管轄内 ]



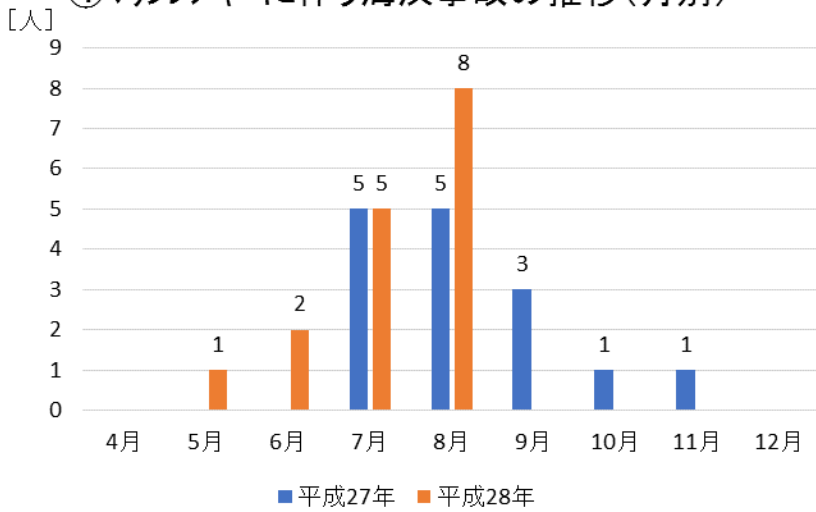
②人身事故の推移(月別)



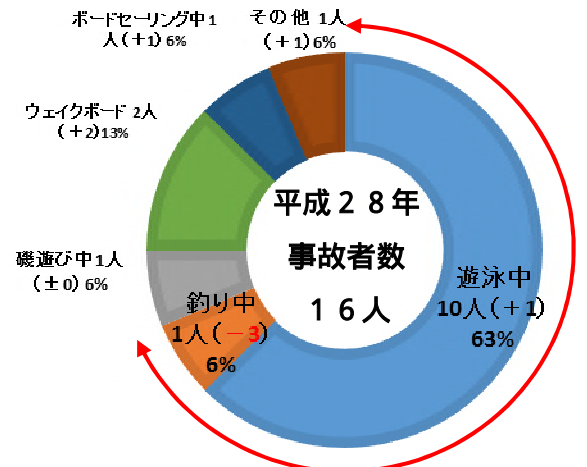
③人身事故の区分



④マリネレジャーに伴う海浜事故の推移(月別)

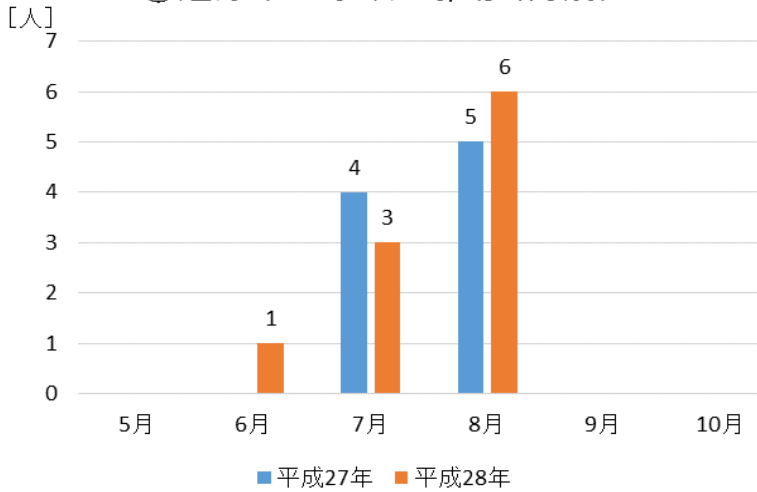


⑤マリネレジャーに伴う海浜事故の内訳

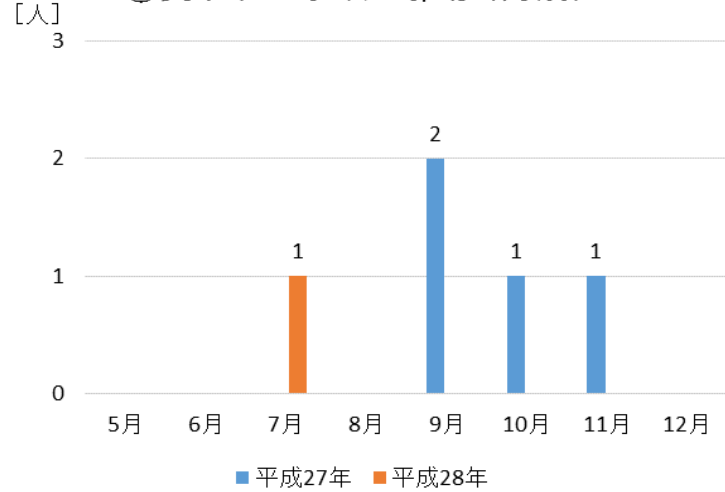


遊泳中及び釣り中  
が約7割(11人)

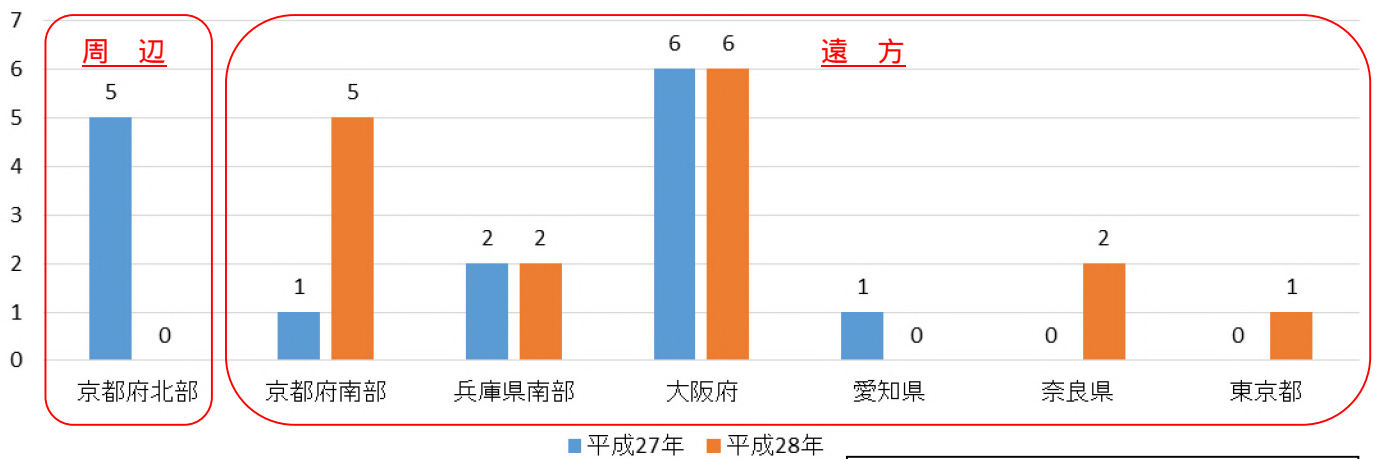
⑥ 遊泳中の事故の推移(月別)



⑦ 釣り中の事故の推移(月別)



⑧ マリンレジャーに伴う海浜事故の居住地(県別)



遠方居住者による事故が多い